

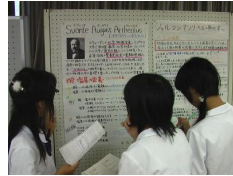


1年環境科学科 向陽中学校 交流 ポスターセッション 科学史ポスター ～ 歴史の中の科学者たち ～



9月19日(金)の4・5限、環境科学科1年生が、向陽中学3年生を対象に、SS環境科学の授業で行ってきた科学史の内容についてポスターセッションを行いました。参加した中学3年生からは、積極的に質問が出され、高校1年生も、その質問に丁寧に答え、詳しく説明していて、とても盛況でした。

参加生徒の感想より
「難しい内容だったけれど、分かりやすく熱心に何回も説明してくれて、とてもよく理解でき、よかったです。」



SSH報告

1年環境科学科・向陽中学校
交流ポスターセッション
科学史ポスター
～歴史の中の科学者たち～

2008
おもしろ科学まつりに出展
「ダイラタンシー」
「しゃぼん玉に入ろう！」
「-196℃の世界」

JST理数大好きシンポジウム
In 和歌山
(於 アバローム紀の国)



2008 おもしろ科学まつりに出展 「ダイラタンシー」「しゃぼん玉に入ろう!」「-196℃の世界」



10月18日(土)・19日(日)の2日間、和歌山マリーナシティ(わかやま館)において“2008おもしろ科学まつり”が開催されました。本校からは「ダイラタンシー」、「しゃぼん玉に入ろう!」、「-196℃の世界」というタイトルで3つのブースを出展し、1年環境科学科の生徒と向陽中学生が担当しました。「ダイラタンシー」は粒子が小さいため、力を加えて粒子が密集すると粒子の間のすき間が小さくなり、強度が増し固体になります。力を加えるのを止めると再び粒子の間のすき間が広がり、もとの液体に戻ります。参加した小学生達は、手にぎったり、力をゆるめたり、裸足で上を走ったりと、この不思議な現象を体験しました。「しゃぼん玉をつくらう!」では、私たちが中に入ってしまうくらいの大きなしゃぼん玉をつくり、参加した子ども達に中に入れてもらいました。

参加生徒の感想より
「興味をもったことに熱心に取り組む小学生達とふれあったり、子どもたちの笑顔を見ることができ、準備や説明などに疲れましたが、とても有意義な2日間を過ごすことができました。」



JST理数大好きシンポジウム in 和歌山 ～知的好奇心をふくらませる学びづくりを～ 口頭発表「アスコルビン酸定量実験の研究」 および ポスターセッション発表



10月22日(水)、“JST理数大好きシンポジウム in 和歌山～知的好奇心をふくらませる学びづくり～”がアバローム紀の国で行われ、3年環境科学科SS科目選択生と向陽中学生8名が参加しました。SSH実践事例紹介では、化学ゼミの「アスコルビン酸定量実験の研究」についての口頭発表、ポスターセッションでは各ゼミから計13テーマ、向陽中学校から2テーマについて発表がなされました。

また、シンポジウム/パネルディスカッションの時間には、本校の吉松敏隆校長先生もシンポジストとして発表されました。

理科系クラブ 第1回研究室訪問「先端科学に触れる 和歌山県立工業技術センター」

8月18日(月)の午後、第4回和歌山県親と子どものためのきらめき“夢”トークが和歌山県工業技術センターで行われ、理系クラブ第1回研究室訪問として本校から15名が参加しました。センター見学では、「CTスキャナを用いて工業製品等の形状を高精度に三次元で表示」、「カキ果実の剥皮方法(酵素で分解)」、「ナイロンの合成実験」、「インクジェットプリンターの実演」の4つの内容についてセンター内を移動しながら、説明していただきました。和歌山県はカキ収穫量が全国1位ですが、近年、皮が剥きにくいカキの需要が減少しています。カキ生産地域の要望から微生物酵素を用いたカキ果実剥皮技術を開発するようになり、現在、企業と共同で実用化のための研究を進めているところだそうです。また、講演会では、「科学技術の醍醐味」という演題で、和歌山県工業技術センターの請川孝治所長より、お話ししていただきました。

